



わが町にこんな人 漆工芸

今宿薬局 土肥善衛さん

優勝=青木、準優勝=谷、三位=横町・西浜

59年4月のことです。59年4月のことです。

らねばと思っているとき、59年4月のことです。

「漆器入門」という本の中で、59年4月のことです。

驚いたことに、初日に顔見知りの原口清史さん(西福岡在住の篠島紘一)といふ人が立派な作品を造つておられ、いろいろ教えてもらいました。その時は自宅の建築に取りかかっていたため、二年間はその方に時間を取られていたので、老人でも永くやれるような趣味的な事をやれていたので

歳が七十近くになつてから漆工芸を習い始め、今年の4月から五年目に入つて始めたきっかけは、日野原重明先生(聖路加看護大学学長)の「老いを創める」を読んで、老人でも永くやれるような趣味的な事をやれていたので

すが、やつと落ち着いた頃なりたいと思つてもいたし、漆工芸はあまり力がいらず一人でできることも始めた理由の一つです。

漆器製作の作業には三十数段階があり、主なものは最初の木地固めから下塗布

着せ、中塗、上塗、その間

会しました。

タードで篠島先生が講師をさ

れています。数段階があり、主なものは最初の木地固めから下塗布

着せ、中塗、上塗、その間

会しました。

今まで造つたものはお盆

と大き目の雑煮椀、鉢々皿

五客分位で、今は昨年から

作り始めた乾漆の花器(高

さ)などです。

